

船橋市議会 自由民主党
自由民主党船橋市支部 事務局長
千葉県自衛隊協力会連合会青年部会 理事



1期目 常任委員会：市民環境経済委員会 副委員長

2期目 常任委員会：建設委員会 副委員長

経 歴

- 公益社団法人千葉青年会議所OB
- 船橋市PTA連合会 副会長（平成26年度）
- 船橋市立前原小学校PTA会長（平成25・26年度）
- 明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科
- 日本大学 法学部政治経済学科
- 日本大学習志野高等学校
- 船橋市立二宮小学校・二宮中学校
- 社会福祉法人長春会 たちばな保育園（前園長）
- 一般財団法人長春会 障害者就労継続支援事業B型（前理事長）
- 船橋市消防団第13分団2班 団員
- 船橋市前原商店会 常任理事

資 格

- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 社会福祉主事
- 二級ヘルパー
- 知的障害者ガイドヘルパー
- 知的障害援助専門員
- 一級建築施工管理技士
- 一級土木施工管理技士
- 一級管工事施工管理技士
- 二級建築士
- 日本傳天心流空手道 二段

ご意見・ご要望、市の施策に対する
ご質問をお寄せください！

議会や委員会で取り上げてほしい事項がありましたら、
お気軽にご相談ください。議会・委員会での質問や要望は
市の事業に係るものとさせていただきます。

その他、国や県に対するご要望・陳情も、お寄せください。

FAX:047-474-4719

Email:harunobu@choshunkai.jp

※必ずお名前とご連絡先をご記入ください。

長野春信

検索

<http://choshunkai.jp/>

携帯からもアクセスできます！

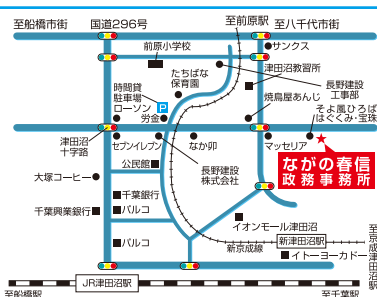


町会・自治会等と連携し、要望の収集や政策立案、広報、
ボランティア活動など、精力的に活動しております。

ながの春信 政務事務所

TEL:047-474-4718

〒274-0824 千葉県船橋市前原東1-16-1



船橋市議会議員

長野

はる

のぶ

ながの春信

駅 頭 用
活動報告

Vol.
29

◆船橋市議会議員 ながの春信 市議会レポート



地元 前原・
津田沼 から
パワフルに
発信します!!

県議会から
船橋づくりの
お手伝いを

千葉県議会議員

斉藤 守



新京成電鉄線「新津田沼駅～前原駅」間 連続立体化等についての経過報告。

船橋市前原自治連合協議会より平成28年1月4日に「新京成電鉄線新津田沼駅～前原駅間立体化等に関する陳情」船橋市議会へ提出されました。



この陳情は国道296号線の慢性交通渋滞解消、県道69号線の混雑緩和、児童生徒の通学の安全確保が目的であり、船橋市議会にておいても全会派一致にて可決されました。



省都市局のご担当者と協議を重ねております。

船橋市、習志野市の両市に跨る大規模事業となります。千葉県を筆頭に鉄道事業者と共に丁寧に協議を重ねて参ります。

あれから3年半が経ち、その間に習志野市側新津田沼駅の再開発が進展するなど、立体化等にあたり状況の変化が起きています。斉藤守県議会は県において、長野春信は市において一般質問、委員会を通じて、また令和元年7月1日前原自治連合協議会の皆様と、



■ 平成27年6月 斉藤守県議会議員 委員会質問

国土整備部長答弁：「鉄道の立体化は踏切を除却することにより、踏切事故を解消し、交通渋滞を緩和するなど街づくりに寄与するものと認識している」「津田沼周辺の立体化についてはまずは地元の船橋市が主体的に検討する必要があると考えている」

■ 平成27年11月16日 船橋市都市計画審議会 議案第1号「船橋市都市計画都市計画区域の整備、開発及び 保全の方針の変更」が付議。

津田沼駅周辺地区について「JR東日本総武線、新京成線および路線バスの交通結節点としての機能を活かしながらか沿線地域の文化的で豊かな暮らしを支える商業サービス機能の集積を図り、情報の発信や文化の創造を図る本区域の東部地域の拠点として配置する」また、「交通渋滞の緩和を図るため、鉄道事業者と調整を図りながら新京成の連続立体化について検討を進める」と明記。

■ 平成28年1月4日

前原自治連合協議会より、船橋市議会へ陳情書提出。50人の船橋市議会議員全員の賛成により採択。

■ 平成28年3月4日

船橋都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針が千葉県より発表。

交通施設の都市計画の決定の方針 a 基本方針において「交通渋滞の緩和を図るため、鉄道事業者と調整を図りながら新京成の連続立体化について検討を進める」と明記。

■ 平成28年11月30日

船橋市道路計画課長から「陳情採択後の行政側の動き」として報告書が前原自治連へ提出。「抜本的な交通渋滞の解消等の対策として立体交差化の必要性を認識していること」や「新京成電鉄や関係機関と今後調整を行っていくこと」が記載。

■ 平成29年9月12日 長野春信市議会議員 本会議質問

道路部長答弁：「国道296号線、県道長沼・船橋線の渋滞は踏切が主たる渋滞の原因であることは把握している」また、「前原小学校児童通学路である危険な5差路(前原5号踏切)の歩行者・自転車の通行数が非常に多いことも確認しているので、交通量調査や渋滞量調査について検討していく」

■ 平成30年4月9日 新京成本社にて会談

木村哲也代議士、斎藤守県議、長野春信市議、前原自治連合協議会副会長

■ 平成30年11月30日 長野春信市議会議員 本会議質問

道路計画課答弁：「新津田沼駅から県道69号線の間に存在する急曲線が問題となっている」「急曲線の改良が必要であると判断された場合は現在の路線と異なったルートとなる可能性があり事業費が膨大となり、実現可能性が乏しい。よって県道69号線、国道296号線といった道路を上げたり下げたりする道路側の立体交差の方法も新京成電鉄との打ち合わせの中でも提案があったため、千葉県と協議が必要となる。」

■ 令和元年7月1日 衆議院議員第二会館

第1回 新京成電鉄線 「新津田沼駅」から「前原駅」間の立体化等に関する勉強会

■ 令和元年10月24日 東部公民館

第2回 新京成電鉄線 「新津田沼駅」から「前原駅」間の立体化等に関する勉強会